

■肉腫科

年度ごとの目標・振り返り

◆ 2020年度

計画①：人材確保

最終実績：2019年9月1日新設科のためまだ医師の人材確保はなし

計画②：全国のがん診療拠点病院との連携と肉腫患者さまの集約化

最終実績：12月の実績では約139人/月で2019年同月を上回った。

計画③：臨床研究の推進

最終実績：全国規模のがんの主要学会である日本癌治療学会で発表した。

世界規模のがんの主要学会である米国臨床腫瘍学会で発表した。

他大学と共同で肉腫臨床研究の論文2報を出版した。

計画④：病院経営への貢献

最終実績：リアルに来院するセカンドオピニオンやPET-CT等検査の患者さまに加えて、肉腫オンライン外来を立ち上げた。

◆ 2021年度の推進計画

計画①：人材確保；常勤医師の公募

計画②：全国のがん診療拠点病院との連携と肉腫患者さまの集約化をさらに進める

計画③：臨床研究の推進をさらに進める

計画④：病院経営への貢献；オンライン診療のノウハウを確立し、他科にも拡大する。

◆ 2020年度の肉腫科紹介

全身の軟部組織（筋肉、脂肪、神経など）から発生する肉腫（サルコーマ）は患者数の少ない希少がん（毎年の新規発生患者数が6人/10万人未満）であり、治癒が特に困難な難治がんです。また、若年から高齢者まで幅広い年齢層の患者さまの全身のさまざまな部位・組織から生じるため、その症状や必要とされる治療、治療効果も多様で、専門施設でない場合はしばしばその診断や治療に難渋し適切な治療を行うことが困難なことも少なくありません。

そこで当院では、2019年9月1日付けで「肉腫総合治療センター」を立ち上げ、肉腫科を全国の患者さまの「ハブ」となる診療科としてがんゲノム医療や薬物治療、外科治療、局所制御治療など高度専門的な治療チームによる共同治療連携体制を構築し対応しています。

2020年度は肉腫オンライン外来でオンラインセカンドオピニオンを開始し、受診患者数の大幅な増加、セカンドオピニオンの収益の大幅な増加につながっている。

臨床統計（2020年1月～12月）

外来患者数

2019年12月 139人

業績（2020年1月～12月）

< 国外学会発表 >

Katsuhito Takahashi, Yasutomo Miyaji, Hajime Higuchi, Hiroko Sano, Shinsuke Aida, Koichi Doi, Yoshihiro Komohara, Jun Yashima, Hiromasa Yamamoto, Ken Suzawa, Yuko Takahashi, Shinichi Toyooka, Ayumi Saito, Yu Oyama, Hiroyuki Narahara, Junko Yotsumoto, Yasuo Ono, Satoshi Teraoka. Genomic analysis of advanced malignant soft tissue tumors to suggest effect of genome-wide loss-of-heterozygosity of germline mutations/variants on anti-PD-1 immunotherapy response and survival of patients. 2020 ASCO Annual Meeting in Chicago, June 4th, 2020

< 国内学会ワークショップ発表 >

Katsuhito Takahashi, Yasutomo Miyaji, Hajime Higuchi, Yoshihiro Komohara, Shinichi Aida, Hiromasa Yamamoto, Ken Suzawa, Yuko Takahashi, Shinichi Toyooka, Hiroyuki Narahara, Junko Yotsumoto, Yu Oyama, Jun Yashima, Yasuo Ono, Satoshi Teraoka. Immuno-genomic profiling of advanced soft tissue tumors: Genome-wide somatic loss-of-heterozygosity (LOH) is associated with infiltration of T-, B-cells in tumor and survival of the patients. The 58th JSCO Annual Meeting in Kyoto, WS29-1, October 24th, 2020

< 原著論文 >

Hiromasa Yamamoto, Kei Namba, Haruchika Yamamoto, Tomohiro Toji, Junichi Soh, Kazuhiko Shien, Ken Suzawa, Takeshi Kurosaki, Shinji Otani, Mikio Okazaki, Seiichiro Sugimoto, Masaomi Yamane, Katsuhito Takahashi, Toshiyuki Kunisada, Takahiro Oto, Shinichi Toyooka. The neutrophil-to-lymphocyte ratio as a novel independent prognostic factor for multiple metastatic lung tumors from various sarcomas. Surgery Today 51, 127-135, 2020.

Haruchika Yamamoto, Hiromasa Yamamoto, Etsuji Suzuki, Kei Namba, Ken Suzawa, Kentaroh Miyoshi, Shinji Otani, Mikio Okazaki, Seiichiro Sugimoto Masaomi Yamane, Takashi Yorifuji, Katsuhito Takahashi and Shinichi Toyooka. A simple prognostic benefit scoring system for sarcoma patients with pulmonary metastases: Sarcoma lung metastasis score. Annals Surgical Oncology 28, 3884-3890, 2020.

< 社会貢献 >

高橋克仁 日本肉腫学会理事長

高橋克仁 日本学術振興会 科学研究費補助金審査員